

エントリー学校名：熊本県御船町立七滝中央小学校

活動名：地域と共にある学校づくり ～「双方向の関係強化」の取組～

解決すべき課題：本校は御船町の中山間地に位置する、5校の統廃合により14年前に開校した校区の大変広い(町総面積の51%)小学校である。主に以下のような課題があった。

- (1) 地域の過疎化・高齢化により、学校を支援していただく地域人材の確保が難しい。
- (2) 学校支援で来校する方の多くが、新校舎が建つ旧上野小学校校区からである。旧校区間で学校への支援者数に差があり、「地域の学校」としての親近感が懸念される。
- (3) 児童は幼少期からの少人数による固定化された人間関係により、児童同士の関係に序列化の傾向が見られ、自分を肯定的に捉えていない児童が多かった。

目標・方針：

家庭・地域と学校の「双方向の関係強化」を大切にしたい取組をととして、地域と共にある学校づくりの充実を目指す。つまり、家庭や地域から学校へ「支援活動」をしていただくばかりでなく、児童や職員も積極的に地域へ出かけ、地域の活性化に貢献するような「お返し・地域貢献活動」を充実させ、学校と家庭・地域がお互いに支援・応援し合う親密な関係構築を進める。【図1】

さらに多くの地域の方と児童のふれあいを大切にした学習活動を組織的・継続的に実践することで、児童の自尊感情や郷土愛の心情を高めていきたい。

活動内容：以下の活動を行い「双方向の関係強化」に取り組んだ。

- (1) 学校運営協議会の充実
 - ①組織の再編成 ②視覚的資料の作成と活用 ③会の構成の工夫 ④議事録の作成と送付
- (2) 学校への支援活動の工夫
 - ①「学習応援団」の取組【図2】 ②「自然体験活動」の取組【表1】
- (3) お返し・地域貢献活動の工夫
 - ①「お礼の会」の取組【表1】 ②「地域行事」への積極的参加【表2】 ③「学校だより」の工夫【図3】

活動の成果：取組をととして、下記のような成果が見られた。

- (1) 学校へ学習支援に来ていただいた地域の方の延べ人数が、平成27年度の75名から令和元年度の217名と、約3倍に増えた。学校を支援して下さる地域人材の新たな発掘や確保ができた。【グラフ1】
- (2) 学習支援の方の地域ごとの協力者の割合が、平成27年度に比べ令和元年度は均等化されてきた。学校への協力体制が確立し、旧校区関係なく学校への親近感が高まったと考えられる。【グラフ2】
- (3) 令和元年度の「全国学力学習状況調査の質問紙調査」の結果では、児童の「自尊感情」や「郷土愛」に関する心情が、全国平均、県平均よりも約10～20ポイント高かった。[令和2年度は実施なし] 取組をととして、「自尊感情」や「郷土愛」の心情が高まったことが考えられる。【グラフ3】

アピールポイント(アイデアや工夫)：

- 学校と地域・保護者の「双方向の関係強化」を大切にしたい取組の推進。
- 地域支援活動や地域貢献活動の取組を、校区全戸に回覧し発信する「学校だより」の工夫。【図3】
- 組織的・継続的な活動のための「コミュニティスクールガイドブック」、冊子「7つのQ&A」の作成と活用。【図4】

取組

図1: 「双方向の関係強化」の取組

図3: 「学校だより」の工夫

①紙面1話題とし、画像中心で読みやすいこと
 ②読み手を引きつけるインパクトのある見出しの工夫をすること
 ③地域の方全員がはっきり分かる写真とフルネームを掲載し、学習応援団の方々の紹介をすること

6月4日(火)に、上野地区の増本和男さん、増永徳義さん、釜川長生さん、藤本繁美さん、土田繁美さん、田川一幸さんにおいでいただきました。3年生が「学校のまわり探検」をして、まとめた地図と学んだことの発表を聞いていただき、今と昔の上野の様子の違いを教えてくださいました。

今とは違う地域の様子に子どもたちはびっくり!!

図2: 学習応援団

学習支援	学習活動	活動の取組
1 学習応援団の方を児童が案内して活動する教室へ行く。 2 最初に出会った活動や自己紹介を行う。	1 一人ひとりが学習応援団の活動にお礼を言いつつ、自己紹介をする。	1 一人ひとりが学習応援団の活動にお礼を言いつつ、自己紹介をする。
3 学習応援団の方と児童との対話ができるような活動をする。	3 学習応援団の方と児童との対話ができるような活動をする。	3 学習応援団の方と児童との対話ができるような活動をする。
4 できるだけ簡単な活動を準備するように工夫をした。	4 できるだけ簡単な活動を準備するように工夫をした。	4 できるだけ簡単な活動を準備するように工夫をした。

表1: 自然体験活動とお礼の会(お返し)

月	自然体験活動	学年	お礼の会
5月	いも植え	1・2年	お礼パーティ【11月】
5月	うめちぎり	1・2年	うめジュースパーティ【9月】
5月	玉ねぎ収穫	2・3年	玉ねぎ給食【6月】
5月	茶摘み・茶もみ	3・4年	お茶会【6月】
6月	田植え	5年	もちつき会【12月】
10月	稲刈り	5年	もちつき会【12月】
10月	いも掘り	1・2年	お礼パーティ【11月】
12月	玉ねぎ植え	1・2年	玉ねぎ給食【6月】

表2: 地域行事への積極的な参加

地域貢献活動(地域行事への積極的な参加)

<令和元年度 地域行事参加>
 5月 上旬(日)七滝滝祭り(6年太鼓)←熊本地震以降中止
 7月 6日(土)宮部兄弟顕彰祭(6年太鼓)
 8月 3日(土)吉無田ふれあい夏祭り(5年生太鼓)
 9月 8日(日)田代東部敬老会(低学年児童)
 9月16日(祝)上野敬老会(上野地区児童)
 9月25日(水)平蔵祭り(4年児童 5年太鼓 奉納相撲)
 10月20日(日)七滝公民館祭り(5年太鼓)
 10月27日(日)北田代美線のむら里祭り(3年獅子舞 6年太鼓)
 11月 2日(土)熊本県文化財保護大会(4年児童)

図4: 「7つのQ&A」の表紙

御船町教育委員会指定
コミュニティ・スクール推進校

地域とともにある学校づくり
7つのQ&A

令和2年3月
御船町立七滝中央小学校

成果

グラフ1: 学校支援者数の推移

グラフ2: 学校支援者地域割合の変化

グラフ3: 全国学力調査質問紙の結果

自分にはよいところがあると思いますか。

今住んでいる地域の行事に参加していますか。